



▼町内の新入児童は89人、甲佐中の新入生は87人。写真は乙女小学校入学式



## 入学おめでとう

平成23年度小・中学校入学式

4月11日（月）町内の各小学校および甲佐中学校で、平成23年度入学式が開催されました。平成23年度の新入生は、甲佐小28人、龍野小16人、乙女小23人、白旗小22人で、町内小学校全体で89人。甲佐中は87人が入学しました。

乙女小学校（河原邦博校長139人）では、同小体育館で入学式を開催。上級生や保護者などの拍手に迎えられて、新入児童たちが元気よく入場して開式。初めに氏名点呼が行われ、新入児童たちは、一人ひとり名前を呼ばれると大きな声で返事をし、起立しました。

河原校長が「皆さんの入学を待っていました。元気よくあいさつして、人のお話をよく聞いて、道路では交通安全を守って、小学校での生活を楽しんでください」と式辞。

在校生を代表して、6年生の森口晴加さん（津志田区）が「乙女小は、花がたくさんあるきれいな学校です。みんなで仲良くしましょう。分からないことは、なんでも聞いてください」と歓迎の言葉を述べました。

## チャリティコンサートを開催

甲佐グリーンハーモニー

4月9日（土）町総合保健福祉センターで、混声合唱団「甲佐グリーンハーモニー」（豊永康法会長・左座守指揮17人）が、第9回演奏会「スプリングコンサート」を開催しました。

コンサートは、3月11日（金）に発生した東日本大震災の被災者救援チャリティとして開催。合唱曲や童謡、歌謡曲など、さまざまなジャンルの曲を演奏して、観客を魅了しました。

チャリティで募った義援金63,030円は、4月11日（月）奥名克美町長に渡され、熊本日日新聞社を通じて被災者支援にあてられます。



▲美しい歌声の演奏を披露する甲佐グリーンハーモニー



▲傘を贈呈された仲光さん（手前）と井芹さん

## 新入児童全員に傘を贈呈

平成23年度交通安全黄色い傘贈呈式

4月4日（月）御船警察署で、平成23年度交通安全黄色い傘贈呈式が開催されました。

御船地区交通安全協会（西口俊一 会長）と御船地区安全運転管理者等協議会（吉田誠地会長）が、御船警察署管内の18小学校の新入児童642人全員に、新入児童の交通安全意識の啓発と雨天時での通学の交通安全のために黄色い傘を贈呈。今年で14回目。

式典では、管内の新入児童を代表して、白旗小1年の井芹由依奈さん（糸田区）と仲光結さん（吉田区）に、各会長から手渡されました。

井芹さんと仲光さんは、「ありがとうございました。交通事故に遭わないように気を付けます」とお礼を述べました。

## 園児たちと稚アユ放流

「大井手川を守る会」

4月15日（金）岩下の大井手川で、大井手川を守る会（田中勝廣会長）が、甲佐保育園（永野義人園長65人）の園児たちと稚アユを放流しました。

同会は、平成22年4月に岩下一区・同二区の住民で結成。生活排水などの影響が出ている同川の清掃活動を行ったり、川沿いに花壇を作ったりするなど環境保全に取り組んでいます。

放流は活動の一環として実施し、今年で2回目。バケツに入れた稚アユを、園児たちとともに川に放流しました。



▲園児らと稚アユを放流する大井手川を守る会の皆さん



▲調印した奥名町長（中央）と大野会長（左）

## 災害時の廃棄物処理を支援

町と(株)熊本県産業廃棄物協会で協定を締結

4月7日（木）町役場で、「災害時における廃棄物処理等の支援に関する協定書」調印式が行われました。この協定書は、町と(株)熊本県産業廃棄物協会（大野羊逸会長）が締結。台風などの災害発生時において、協定に基づき同協会が大量に発生した廃棄物を回収し、本町の地域の生活環境の復旧に協力する支援活動について規定。平成21年に県と同協会が交わした「災害時の支援活動に関する基本協定」に沿い、町独自の支援活動に関する実施項目を盛り込んだ内容で協定を結びました。

調印式で、奥名克美町長は「台風や大雨などの災害が起こった場合に、町の復旧への大きな力になると期待します」とあいさつし、奥名町長と大野会長が協定書に調印しました。

## ピアノ西日本大会で入賞

椿留茄さん（甲佐小3年・岩下二区）



▲第20回グレンツェンピアノコンクール西日本大会の小学1・2年Aコースで、正確な演奏が評価されて準優秀賞を受賞した椿さん

3月28日（月）福岡県で、第20回グレンツェンピアノコンクール西日本地区最終大会が開催され、小学1・2年Aコースに出場した椿留茄さん（甲佐小3年・岩下二区）が準優秀賞を受賞しました。

同大会は、予選・本選が全国約120会場で開催され、延べ35,000人が出場するピアノコンクール。グレンツェンピアノ研究会が主催。

椿さんは、昨年9月開催の熊本地区予選で優秀賞、同12月開催の同地区本選で準優秀賞を受賞して、西日本地区最終大会に出場。「西日本大会の本番では緊張したけど、練習のときよりも上手に課題曲を演奏できました。賞をもらえて、とてもうれしかったです」と大会を振り返った椿さんは、課題曲を正確に理解して一つ一つの音を丁寧に演奏したことが評価されての受賞となりました。

6歳からピアノを始めた椿さんは、現在は「基礎練習用の曲や、アニメの曲などを演奏することが好きです」と話し、今回の受賞を受けて「これからは、簡単な曲だけでなく難しい曲も弾いてみたい」と抱負を述べました。